

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

創世会
山本裕三



各自治区にポータブルソーラーパネル及び蓄電池の配備を

Q

2018年10月台風24号により市内全域で大停電が発生した際、携帯電話や情報機器の充電に市民は苦慮をした。防災用タブレットが各自治区に配備されている当市において、携帯やタブレットの充電用にポータブルソーラーパネルと蓄電池の配備が必要と考えるが見解を伺う。



ポータブルソーラーパネル、蓄電池使用例

令和5年度から補助金対象品目に加えることを検討する

A

防災用タブレットを全ての自主防災会へ配備したこともあり、充電等に利用できるポータブルソーラーパネルや蓄電池は災害時に有効であることから、令和5年度から自主防災会補助金対象品目に加えることを前向

きに検討していきます。

民間宿泊施設を福祉避難所として利用すべきでは

Q

熱海市伊豆山土砂災害では、ホテル避難が感染症対策においても有効であったとのことである。ホテルや旅館を、障がい者等要配慮者の方向けの災害時福祉避難所として利用を拡大する必要があると考えるが見解を伺う。

組合と協定を締結しており福祉避難所として利用していく

A

掛川市と同様に静岡県も静岡県同業組合と協定を締結しており、協定の用途は福祉避難所として使用することとなっています。状況に応じて駅周辺の宿泊施設については帰宅困難者や応援要員の利用、バリアフリーが整っている旅館やホテルは、福祉避難所として利用するなど、柔軟な対応を考えています。

【その他の質問事項】

・人口増に向けた観光、産業政策について

創世会
藤原正光



地域防災力の中核を担う消防団の充実強化策は

Q

ラップ隊を本部付にして、趣味や得意分野を活かした、楽器演奏のできる機能別団員で構成し、式典や消防団のPR広報に専任することができないか伺う。

負担軽減を考慮し団本部と協議していく

A

現在、ラップ隊員の主な任務は式典での演奏で、日ごろは各分団で活動しています。選出された団員は、ラップの合同訓練のほか、式典での技術的なプレッシャー、さらに分団活動との両立など、大きな負担であると認識しています。これらラップ隊員の負担軽減を考慮すると、ラップ演奏に興味がある方に、機能別消防団員として入団いただく提案について団本部と協議していきます。

効率的で効果的な消防行政の運営を

Q

消防署の施設配置により、救急出動の現場到着時間に偏りがある。今後、高齢者の搬送割合も増加し、更なる救急需要が見込まれるが、救急行政の充実強化に向けた対策を伺う。



今後の境界付近の対応が注目される消防行政

専従救急隊を増隊し体制の充実強化を図っている

A

掛川市は、面積が大きく人口の分布が広範囲におよび各消防署から離れているため、時間がかかる地域があります。救急業務は需要が多く、市民にとって身近で重要な行政サービスですので、本年度から中央消防署へ救急係を新たに新設し、専従救急隊を増隊して、体制の充実強化を図っています。